事業所名 運動療育サトスポキッズ 支援プログラム	作成日 令和6 年 12 月 25 日
---------------------------------	---------------------

3	法人(事業所)理念	【カラダを動かそう!ココロがハッピーに!】				
	支援方針	身体を楽しく動かすことを通して、本人の『やってみたい!』という気持ちに寄り添い、ともに活動することで、 その可能性を最大限に引き出しエンパワメントしながら、本人と保護者および本人に関わるすべての方達の幸せを目指す。				
	営業時間	平日 11 時 00 分から 19 時 00 分まで	送迎実施の有無	なし		
		土日祝 10 時 00 分から 18 時 00 分まて 長期休暇				
	支 援 内 容					
	健康・生活	・来所時の観察と保護者への聞き取りで児童の健康状態を把握する。 ・運動により基本的生活に必要な身体の動かし方を習得し、健康な身体作り(怪我や病気の予防、免疫力の向上)を行う。				
本人支援	運動・感覚	【自主選択式メニュー】 数多い運動メニュ―の中から、本人が自ら選んだ課題に取り組むことで、本人が求める感覚欲求を満たしながら、身体を動かす楽しさを感じてもらえるよう支援する。				
		・個人の運動能力に応じた必要な課題の提案・運動量を確保し、体力の向上を促す。 ・感覚特性に応じて活動する場所を分けたり、本人が必要とする補助用具を活用する。 ・セラピストのアセスメントにより本人の運動機能の向上に繋がる活動に取り組む。				
	認知・行動	・本人にとってわかりやすい絵カードやタイマー、バッジによる区切り等の環境設定を行い、様々な道具を使って遊ぶことで認知面の向上に繋げる。 ・本人の状態や特性をアセスメントや保護者との会話から共有を行い、本人の意思を尊重しながら適切な行動を身につけていけるよう支援する。				
	言語 コミュニケーション	・言語遊び(文字並べや連想ゲームなどの文字遊び)を運動課題の中に取り入れることで、言語能力の向上に繋げる。 ・個別での指導の中で、人とのやりとりの土台作りを行い、本人にあったコミュニケーション能力を身につけていけるよう支援する。				
	人間関係 社会性	・個別での活動で本人の気持ちに寄り添い、信頼関係を構築し、本人が安心して楽しめる環境作りを行うことで自己理解を促していく。 ・本人の状況に応じて小集団の活動を行う中で、ルールを守ることや他者との適切な関わりを経験し、社会性を育んでいく。				
多		・ペアレント・トレーニングをはじめとした学習会、保護者交流会の開催、個別相談への対応等を実施することにより、特性理解を促したり、きょうだい児を含めた子育てに関する保護者の不安に寄り添うことで家族をエンパワメントする。	发 移行支援	・保護者への移行先に対する相談及び情報提供や、関係機関との連携や情報共有を行うとともに、同年代の児童との関りを作りながら、本人の移行後の生活がスムーズになるように支援する。		
İ	地域支援・地域連携	・地域イベントへの参加を通して、地域住民との交流や、児童発達支援サンターとの連携、子ども部会、児童支援連絡会への参加により、地域の一育て環境の構築に貢献する。		・外部研修の受講や事業所内研修を実施、およびセラピストをアド バイザーとして招くことで、職員の専門的な知識やスキル、支援の 質の向上を図る。		
主な行事等 ・保護者学習会(ペアレント・トレーニングなど)・保護者交流会・親子交流会(ボッチャ大会・スポーツ大会・手作り教室 ・防災教室(避難訓練・防災勉強会など)・地域イベント(マルシェ・体操フェスティバル・学校行事など)			ーツ大会・手作り教室など) など)			